

Pulse

○けんこうQ&A

平成21年4月発行 通巻13号

Q:

しつこい便秘に悩まされています。よい解消法はないでしょうか。28歳女性。

A:

食事の工夫はして、市販の便秘薬も試されたことと思います。しつこい便秘の人で、効きが悪いといって、薬をたくさ飲んでしまう方がいます。そうしますと通じはあるけれどもお腹がキューと痛くなってしまいます。飲めば痛いし、飲まなければ便秘が続く、困ってしまいます。そんな時に漢方薬を試してみてください。

代表的な便秘の漢方薬に「大黄甘草湯」があります。大黄と甘草との2つの生薬で作られています。大黄には強い下剤の働きがあります。落語にもしばしば出てきて、「地獄八景亡者戯（ふりがな：じごくばっけいもうじゃのたわむれ）」では鬼の腹の中に、「夏の医者」ではウワバミの腹の中に大黄が振りまかれる光景が出てきます。甘草はとても甘く、お菓子や醤油などに甘味料としても使われています。大黄は非常に攻撃的な薬で將軍の別名があり、甘草は守備の薬で国家老とも呼ばれています。大黄の強い作用を甘草がうまくつみこんで調整しています。下剤としてよく効くのですが、お腹が痛くなりやすくなっています。

この他にもいろいろな漢方があります。メタボの漢方として有名になったナイシトールRは「防風通聖散」という漢方薬です。これにも大黄が含まれていて、便秘体質の人に下剤としても使われます。お腹がいつも張っていて、痛くなりやすい人には「桂枝加芍薬大黄湯」が、疲れやすくて体力がなく、お腹の力が弱い人には「小建中湯」が、高齢の方でコロコロとしたウサギの糞のようなお通じの場合「麻子仁丸」が、それぞれよろしいです。

最近では街の薬屋さんでも多くの漢方薬が売られています。漢方薬は体質によって使い分けをしますし、副作用の可能性もありますので、漢方を良く知っている医師や薬剤師に相談していただきたいものです。

